



# 神奈川大学秋田県宮陵会会報

発行  
神奈川大学  
秋田県宮陵会

Vol. 3

2023年(令和5年)  
3月号  
会員数 554名

発行：編集：広報委員会

秋田市中通四丁目1番52号406号 TEL：018-837-7768

会報発行は年1回となります。原稿や写真、トピックスなど随時募集しております。



## 令和四年度神奈川大学

### 秋田県宮陵会総会が開催される

令和四年度の神奈川大学秋田県宮陵会総会が、十二月十二日(土)秋田市アキタパークホテルにおいて開催されました。

神奈川大学から田島睦浩経営政策部長、宮陵会から久米信行専務理事が来賓として出席され、大学の現状や卒業生の活躍などを紹介していただきました。

総会では、伊藤恵一会長の挨拶の後、令和三年度の収支決算および活動報告並びに令和四年度収支予算および事業計画が齋藤繁樹幹事長から説明され、慎重審査の結果、満場一致で議決されました。

討議の中で、参加者の固定化および高齢化、若い世代の参加者が少なく活動の低迷など、会の継続についての課題が、危機感を持つて有意義な議論が交わられました。

今後の対策として、女子会の活性化、業態別の卒業生の組織化による若い世代の会員増強策など、積極的な取組みが提案されました。

今年度も、新型コロナウイルスの影響により懇親会は残念ながら中止となりましたが、来年度こそは多くの会員の参加を得て、盛大な懇親会の開催を祈念いたします。

### 祝一般表彰

昭和四九年貿易学科卒、田口裕さんは、市議会議員として連続三期二年にわたる地方自治の振興に貢献された功績により、全国市議会議長会表彰を受賞されました。「十二年間の議員活動が認められ大変嬉しく思っています」(本人)

### 日本記録更新ならず

昭和四三年法律学科卒、菅原潤司さんは、四十年以上にわたり秋田県軟式野球の普及、発展に努めた功績により、秋田県軟式野球連盟表彰功績賞を受賞されました。「現在、少子化によりチームが減少しており、今後は学童野球人口の拡大に努めていきたい」(本人)

神奈川大学の航空宇宙構造研究室と宇宙ロケット部のグループは十月八日、能代市落合浜でハイブリットロケットの飛行実験を行い、昨年達成した高度日本記録の一〇・一キロの更新を目指したが、強風の影響で四・二キロにとどまり記録更新はなりませんでした。

飛翔実験は、これまで十五年から四回実施し、昨年、北海道大学の持つ日本記録を更新、将来的には百キロを目指しています。

燃料は、人気アニメ機動戦士ガンダムのプラモデルの使用済み廃材から個体燃料を開発。爆発の危険がなく、有害ガスも出ないこと、安価な材料ということで実用化が期待されています。秋田県宮陵会は、今後も来年の記録更新を応援していきます。

### 令和3年度収支決算及び令和4年度収支予算

【収入】	(単位) :		
	3年度決算額	4年度予算額	摘要
前年度繰越	611,327	598,770	
会費	106,000	110,000	年会費2,000
總會等会費	40,000	200,000	總會, 新年会
助成金	114,328	100,000	宮陵会本部
幹事会会費	0	20,000	
雑収入	4	4	利息等
合計	871,659	1,028,774	
【支出】			
会議費	18,534	240,000	總會, 新年会
幹事会費	0	30,000	
事務費	35,083	60,000	事務労務費
印刷費	5,000	50,000	会報等
通信費	119,153	140,000	切手他
旅費	36,840	150,000	東北大会等
雑費	36,850	50,000	イベント等
予備費	21,429	308,774	HP更新料
合計	272,889	1,028,774	

会報に寄せて  
真磐梯紅葉に集う



昭和44年  
法律学科卒  
会長 伊藤 恵一

宿に着き、部屋でさっそく浴衣に着替えて、真っ直ぐ露天風呂に向かった。脱衣所を抜けると、硫黄の匂いと湯気の立つ浴場に何人かの先客がいた。目を凝らすと令和四年十月十六日の今日、四年ぶりに会うメンバーだった。コロナの影響で計画倒れが続き、延び延びになっての再会である。

同じゼミ仲間、賀状交換、仲間友人等の縁で、気兼ねなく話せる男達の集まり。北海道から南は鹿児島まで十五人が名簿に連ね発足した。名称は「神大44一服会」卒業年次と還暦を迎えたこの辺で、いっぶくしよう！の意味合いを持つ。  
平成二十一年六月二十七日、箱根の母校保養所を皮切りに、出身県者を幹事役とし順番に全国を旅してきた。この間、二名が病に倒れ、医学の進歩も虚しく無念の鬼籍となった。

四十年ぶりに劇的再会を果たしたあの日。懐かしさと共に感情が溢れ、皆が驚嘆するような声で、「おう！暫くだったねえ」「変わりがなかったかあ」と感嘆に包まれた。喜びを爆発させ互いに声を掛け合った情景は、脳裏にはつきりと焼き付いて、学生時代にタイムスリップした瞬間だった。

それぞれが青春の坂道を駆け抜け、六角橋を巣立ってから五十三余年の星霜が流れた。固い絆に結び越え、色褪せることなく生涯の友人関係を築いていくだろう。皆と真磐梯紅葉の五色沼湖沼群を散策しての語らいは、改めて男同士の情愛の深淵を覗いたように思われた。



2022. 11. 19 東北ブロック会議 (郡山市)

活躍する会員  
ある先輩との出会い

昭和五九年法律学科卒  
副会長 皆川 雅仁

遡ること三十年前、当時、秋田大学を会場に行われた「社会教育主事講習」に参加していたときのことです。県北部の小学校で教員をしていた私は、夏休み直前から実施された講習に、一学期の疲れと少しの不安を抱えて参加していました。

講習も中盤にさしかかる頃、県内参加者（講習には青森、岩手からも参加）だけの懇親会が催されました。そこには、市町村の行政職員、小・中・高の教職員が一堂

第五回を迎えた神奈川大学秋田県宮陵会親睦ゴルフ大会が、晴天の中、令和四年九月十二日ノースハンプトンGCで参加者四名、第六回大会は十月十二日

秋田県宮陵会親睦ゴルフ大会

太平洋山カントリークラブで六名の参加により開催されました。黒崎義雄実行委員長が、ともにベスグロ優勝を飾り、実力の違いを見せつけました。準優勝は、

第6回神奈川大学秋田支部親睦ゴルフ 令和4年9月12日(月) 於:ノースハンプトン



樋渡 聡 石川 真 黒崎 義雄 佐々木 敬悦

樋渡聡、石川真、第三位は、佐々木敬悦、樋渡聡の皆さんでした。



左から樋渡、石川、黒崎、佐々木敬悦、佐々木義海

コロナ禍の中、このイベントだけは毎年開催されており、来年度も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

に会っており、業種を超えた交流がいつ終わるともなく繰り広げられていました。その中に、神大出身の先輩がいらつしやつたのです。それまで、同じ大学出身というところで、何か心が大きく動いたという経験がなかった私が、そのときは違っていたのです。学部学科も異なる先輩なのに、ただ嬉しいだけではなく、何かとても頼もしく、兄貴のような感じさえしたことを覚えています。社会教育の仕事に対する思いは、その先輩との交流を通して増幅されていったように思いました。

時は、鮮明に覚えています。諸先輩の澁刺とした立ち振る舞いに圧倒されながらも、和気藹々とした雰囲気の中での交流がとても心地よく、時があつという間に過ぎていったことを。それから年二・三回程度ではありますが、会合に参加するのが楽しみになりました。今も参加し続けているのは、きっとあの時の思いが強いからです。現在私は、定年退職後、あの講習で取得した資格を活かして再任用職員として社会教育の仕事に携わっています。振り返ってみると、あの講習での先輩との出会いが、私の歩む道に大きく影響したことは間違いなようです。先輩に感謝。(元八峰中学校・校長)